

エンゲージメント活動実績 2019年(1~12月)

2020年8月31日時点

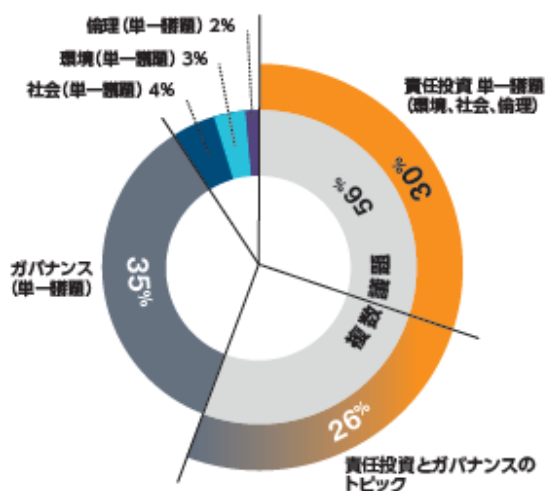
ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社およびその関係会社(以下「ティー・ロウ・プライス」)は、世界中の顧客のために資産を運用しており、長期視点に基づいたアクティブ運用戦略を主に提供しております。よって、投資先企業のアクティブなモニタリングやエンゲージメントは私どもの運用プロセスの中核の一部を担っています。

当社のエンゲージメントは投資部門が主導となっており、独自の RIIM 分析、ガバナンス・スクリーニング、アナリストのファンダメンタルズ・リサーチを通じてエンゲージメントの目標を特定し、行なっています。株式および債券チームのポートフォリオ・マネジャーやアナリストに加え、ESG スペシャリストも ESG エンゲージメント・ミーティングに参加します。

様々な観点から企業とのエンゲージメントを行っていますが、ESG エンゲージメントでは、企業のビジネスに影響を及ぼす環境関連の慣行、コーポレート・ガバナンス、社会問題について学び、提言し、意見を交換することに重点を置いています。

2019年、既存の投資先や投資先候補企業との間で 11,000 件以上のミーティングを開催しました。これらのミーティングのうち、656 件は ESG 課題に関する議論が含まれ、ESG エンゲージメントとして分類しています。

2019年におけるエンゲージメントのテーマ別内訳



※ 2019年12月31日時点

エンゲージメントのトピック上位5位

環境
1. 環境関連の開示
2. 製品のサステナビリティ
3. 温室効果ガスの排出
4. 責任投資
5. 環境マネジメント
社会
1. 社会関連の開示
2. 従業員の安全・処遇
3. 議決権行使 (社会)
4. 多様性
5. 社会や地域社会との関係
倫理
1. 贈収賄・汚職
2. ロビー活動
3. 議決権行使 (倫理)
4. 規制の変化
5. コンプライアンス・プログラム
ガバナンス
1. 役員報酬
2. 取締役会の構成
3. ガバナンス構造
4. 株主の権利
5. 後継者

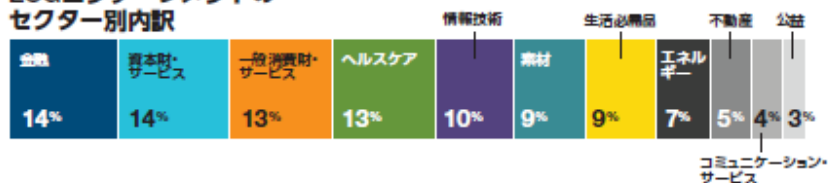
ESGエンゲージメントの時価総額別内訳



ESGエンゲージメントの地域別内訳



ESGエンゲージメントのセクター別内訳



日本企業とのエンゲージメントについて

2019年は合計679社と1533回の面談を開催しています。内、850回が1対1の面談（企業と弊

社のみ)、また 507 回が CEO および CFO との面談でした。

以下、主なエンゲージメント例です。

上場区分/業種	テーマ	内容
東証一部/サービス	ガバナンス(G)、財務戦略、開示	海外買収案件を受けて、国内会計基準では市場にて十分な評価を受けにくいいため国際会計基準の適用を提案しています。同社が見送ったことから、議決権にて取締役の選任に対し反対票を投じました。継続して提案を行っています。
東証一部/食品	ガバナンス(G)、開示、財務戦略	同社の取締役選任プロセスが不透明であり、実質的には世襲制にて経営が行われている可能性が高いこと、他社と比較し経営陣へのアクセスが悪く、余剰資金の処分や過度な政策保有株式など、株主重視の経営へ転換を促すため、かねてより対話を重ねています。協働エンゲージメントも視野に入れ、引き続き対話を重ねていく予定です。
東証一部/情報・通信	財務戦略	資本配分について、より長期的に安定的な成長が見込める事業分野への投資を増やすことを提案しており、議論を継続しています。
マザーズ/情報・通信	ガバナンス(G)	取締役会の構成につき、独立性基準を満たす取締役を最低2名配置する形態へ移行すべき時期であるとの意見を呈しています。
東証一部/医薬品	社会(S)	時間外労働に対する賃金不払いなど、労働基準法違反により労働基準監督署より是正勧告および指導があった件につき、その後の対応および改善策についてヒアリングを行いました。時間外労働時間記録管理の強化、プロセスの改善、経営陣も含め社員全員に対する啓蒙など、様々な具体的な改善策が取り組みが行われていることを確認、同社に対する評価および投資スタンスを維持することとしました。
東証一部/化学	ガバナンス(G)、開示	従来より同社の経営陣へのアクセスおよび売り上げの大部分を占める海外事業の詳細についての開示を要求していました。経営陣が刷新され、投資家の意見が聞き入れられ、アクセス、開示ともに向上がみられました。
東証一部/サービス	社会(S)、ガバナンス(G)	2019年学生のデータに関する不祥事の際に今後の対策と方針について確認を行いました。グループ全体にまたがる個人情報保護方針およびデータマネジメントの改訂・公表に加え、グループ会社をまたがる法務部門統合など組織体制の更新、社員向

		け啓蒙プログラムなど改善が施された結果、同社の対応策の項目において評価を引き上げました。
東証一部／機械	ガバナンス(G)、財務戦略	資本配分、ガバナンス、同社が採用している買収防衛策についてかねてより懸念を有しており、同社経営陣と対話を重ねています。同社経営陣は株主との対話にも積極的に応じており、健全な対話が行われています。改善への取り組みも見られており、引き続き積極的に対話を重ねていく予定です。
東証一部／その他	ガバナンス(G)	従来より事業戦略を始め、資本配分、収益の改善、経営陣の説明責任の明確化、買収防衛策について対話を重ねてきました。今後も引き続き改善を求め対話を重ねていきます。
東証一部／電気機器	財務戦略	余剰金の処分について株主への還元へより重視するよう、従来より提言しています。引き続き議論を継続していきます。
東証一部／情報・通信	環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)	個人情報データの保護、さらに、環境およびジェンダー・ダイバーシティーに対する取り組みについて対話を重ねてきました。同社は2018年のデータ流出事故以降、データ保護の改善に注力しており、新たにプライバシーポリシーを策定・公開した点を高く評価しています。環境配慮および災害対策として太陽光発電によるサービス基地の建設を務めるなどの対策も評価しています。ジェンダー・ダイバーシティーでは、2021年には女性管理職を7.5%まで引き上げることを目標に様々な取り組みを行っており、現在では、女性取締役が3名在籍していることも評価しています。引き続き対話を重ねモニタリングしています。
東証一部／小売	環境(E)、社会(S)、開示	事業の中核にサステナビリティを据え置き、推進していくとの企業の発表を受け、更なる情報収集のため同社の取り組みについてヒアリングを行いました。結果、弊社のモデル(RIIM)に採用している項目におけるデータ補完により、オレンジからグリーンへ評価が向上しました。
東証一部／情報・通信	社会(S)、ガバナンス(G)	同社はESGに前向きに取り組んでいる一方、取締役会に占める独立取締役の割合が過半数未満であること、またジェンダー・ダイバーシティーに欠けていると考えたため対話を行いました。ジェンダー・ダイバーシティーについては、役員レベルでは半数程度女性である点を評価、ダイバーシティ向上に対する取り組みについて説明を受けましたが、取締役会に女性を加えるべきとの提言を行いました。2020年の総会にて取締役会

		に女性が1名加わったことは高く評価しています。独立取締役については今後もモニタリング項目として対話を続けていきます。
--	--	--

以上

お問い合わせ先

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

コンプライアンス部

Eメール : Tokyo_Compliance_Public@troweprice.com

〒100-6607 東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー7F

電話番号 03-6758-3820 (代表)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 3043 号

一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会

202008-1308576